

HOT

コミュニケーション

サッカー日本代表 中村俊輔選手が当別小に



イギリスのプレミアリーグ、セルティックで活躍中の、サッカー日本代表 MF 中村俊輔が当別小学校に登場。スポーツメーカー adidas が主催するサッカー教室に、当別のサッカー少年団「当別ジュニア FC」が全国から1チームだけ選ばれ、22人の小学生が参加。

中村選手が独自に考えた、鉄棒を使ったり、牧草ロールを使ったメニューを通じてサッカーの技術だけでなく、楽しんでプレーすることの大切さを子どもたちに伝えました。

(6月26日 当別小学校)



AEDの寄贈



札幌北法人会当別支部（宮永雅己支部長）から、AED（自動体外式除細動機）の寄贈をいただきました。

緊急時に人命を救うために町内の教育施設に設置されます。

(6月19日 当別町役場)

広 告

認知症を学び、支えよう



認知症サポータークラブが当別小学校4年生の児童に認知症への理解を深めてもらおうと総合学習「ともに生きる」の時間を利用して授業を行いました。

授業では、自分たちの家庭に認知症にかかったお年寄りがある場合にどのように行動するかを聞きながら進められ、劇を通じて「認知症は、脳の機能が低下して起こる症状が多く、もし困っているお年寄りがいた場合は、やさしく声をかけてあげて欲しい」と児童たちに伝えられました。

(7月22日 当別小学校)

レラカムイの選手がやってきた



プロバスケットボールチームレラカムイの主催で「バスケットボールクリニック」が総合体育館で開催されました。

レラカムイからは、今年加入した阿部選手と加藤選手がコーチとして参加し、基本となるボール回しやドリブル練習などを2人の選手が見本を示しながら行い、腰の位置や視線の方向など一人ひとりへ丁寧に教えていました。

最後に、レラカムイの2選手とミニゲームを行い、子どもたちは果敢にゴールを狙っていました。

(7月5日 総合体育館)



告 白